

平成23年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

7項 保健体育費

スポーツ健康教育課（内線：7922）

4目 スポーツ振興費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)ジュニア期一貫指導体制推進事業	18,165	0	18,165				18,165	

トータルコスト 20,561千円（前年度0千円）〔正職員：0.3人〕

主な業務内容 委託契約、確定検査

工程表の政策目標（指標） 競技力の一指標となる国体成績の向上（競技得点350点以上、総合成績30位台の定着）

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

本県競技力向上のための基盤を整備するため、一貫した理念や内容で組織的・計画的にジュニア期（小中高）の一貫指導体制の確立を図るとともに、優秀なジュニア選手の発掘・育成・強化により本県の競技力向上を目指す。

2 事業内容

（単位：千円）

区分	予算額	事業内容
競技者育成プログラム作成	640	一貫した指導体制の確立を図るため、各競技団体ごとに「競技者育成プログラム」を作成する。（32競技）
ジュニア指導者講習会	4,034	作成した競技者育成プログラムをもとに、指導者を対象とした講習会を開催する。（36競技）
カテゴリ別合同練習会	6,031	競技者育成プログラムをもとに、講習会を受講した指導者が年齢別合同練習会で指導を行い、一貫指導体制の定着とトップアスリートの発掘と育成・強化を図る。（40種目）
ジュニアクラブチーム等の育成・支援	4,000	小・中・高の一貫指導体制を整え、ジュニアの育成・強化を図るため、基盤となるクラブを支援する。（20クラブ）
指導者育成	2,812	若手指導者を全国トップレベルの指導実践（学校・チーム等）に派遣し研修させ指導力の強化を図る。（14競技）
高等教育機関との連携	648	鳥取大学及び鳥取短期大学の運動部を強化指定し、活動経費について助成を行うとともに、同大学と連携し、県内トップレベルの高校生を対象にメディカルサポート及び栄養サポートを実施する。
計	18,165	

3 これまでの取組状況・改善点

- これまでは各競技団体や組織、体育協会などがジュニアの育成に携わるも、組織的・計画的指導体制が未整備で、指導の成果がなかなか結果に結びついていなかった。
- 昨年度、一部競技で実施した競技者育成プログラムの作成やこれに基づく指導が、ジュニア期の指導に当たる指導者の一貫した指導理念や指導内容の確立に成果をあげたため、これを全競技に拡大し、PDCAサイクルに基づく集中したジュニア強化を目指す。

平成23年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

7項 保健体育費

スポーツ健康教育課（内線：7922）

4目 スポーツ振興費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他 (基金繰入金)	一般財源	
競技力向上対策事業費	163,029	152,709	10,320			2,000	161,029	
トータルコスト	165,425千円（前年度172,879千円）〔正職員：0.3人〕							
主な業務内容	委託契約、確定検査							
工程表の政策目標(指標)	競技力の一指標となる国体成績の向上（競技得点350点以上、総合成績30位台の定着）							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

本県スポーツの競技力向上を図るとともに、スポーツ活動を通して県民に夢と感動を与える優秀な競技者を育成するため、競技団体等が実施する各種強化事業に対して助成する。

2 事業内容

（単位：千円）

区分	予算額	事業概要
ジュニア強化	61,713	国内の優秀コーチを招へいし、定期的な指導を受ける（11競技、13人）
		中学生選抜選手強化事業 （20競技、314人程度）
		高等学校運動部指定強化事業 （26校、69部）
		少年国体等選手指定強化事業 （30競技、343人程度）
(新)ジュニア期一貫指導体制推進事業	再掲 (18,165)	一貫した理念や内容で組織的・計画的にジュニア期（小中高）の一貫指導体制の確立を図る
特別強化	29,879	(新)特別指定競技国体強化事業 高い競技得点がねらえる有望な団体競技、過去に入賞が常連であった競技を指定し、集中的な強化事業を実施する（8競技、189人程度）
成年強化	24,231	成年選手を指定し、国体等に向けて県内外で集中的な強化事業を実施する（28競技、222人程度）
条件整備	25,845	安全管理対策事業 国体候補選手等のスポーツ安全保険料を補助
		医・科学サポート事業 筋力トレーニングを充実させるとともに、栄養指導等を含めたサポート体制を整えるために講習会等を実施する
		強化練習用消耗品等対策事業 強化練習や国体参加に必要な運搬費等（ヨット、ボート、カヌー運搬費等）
		強化推進事業 競技団体との連絡・調整・指導等
国体等強化備品整備事業		国体等強化備品整備及び廃棄委託料
派遣職員人件費	21,361	県職員3名を財団法人鳥取県体育協会に派遣するために必要な経費
計	163,029	

3 これまでの取組状況・改善点

国体30位台への定着へ向けて、各競技で今後何点の上積みが必要になるか検証を行い、競技得点の高い団体競技及び過去に入賞が常連であった競技を特別に指定し、集中的に強化を行うこととしている。

平成23年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

7項 保健体育費

スポーツ健康教育課（内線：7919）

4目 スポーツ振興費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
国体成年団体競技強化事業	2,792	4,515	△1,723				2,792	
トータルコスト	4,390千円（前年度7,742千円）[正職員：0.2人]							
主な業務内容	委託契約、確定検査							
工程表の政策目標（指標）	競技力の一指標となる国体成績の向上（競技得点350点以上、総合成績30位台の定着）							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>国体で高得点が得られる団体競技の競技力向上を図るため、県内で高い競技力を有する社会人クラブチームを中長期的な展望で支援し、国体で活躍できる優秀な選手の育成・強化を図る。</p> <p>2 事業内容</p> <p>国体選手を多く輩出している県内社会人クラブチームに対して選手強化に必要な活動費を助成する。</p> <p>(1) 指定条件 過去3年間の国体ブロック及び本国体の成績で、ブロック突破又は本国体ベスト16の団体競技</p> <p>(2) 補助対象経費 遠征に必要な経費（補助率：定額）</p> <p>(3) 対象クラブ 4クラブ</p> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;"> <p>SCとっとりドリームス（サッカー：成年男子）</p> <p>三洋CE（軟式野球：成年男子）</p> <p>三洋CE（バドミントン：成年男女）</p> <p>鳥取クラブ（アイスホッケー：成年男子）</p> </div>								